

令和元年度美馬市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和2年2月14日(金) 午後1時から午後2時7分まで

2 場 所 美馬市役所南館 3階306会議室

3 出席者 美馬市長 藤田 元治
(構成員) (教育委員会)
教育長 村岡 直美
教育長職務代理者 近藤 卓
委員 上田 加代
委員 近藤 陽子
委員 眞鍋 昇司

(構成員以外の出席者)

大泉副教育長
篠原教育委員会事務局次長(穴吹給食センター所長事務取扱)
藤本教育総務課長
竹内教育指導監
井口教育総務課主幹
園木地域学習推進課長
南脇町幼稚園長
吉田企画総務部長
藤本企画総務部次長(総務課長事務取扱)(事務局長)
荒岡総務課主幹(事務局)

4 欠席者 教育長職務代理者 三好 亘

5 傍聴者 なし

6 日 程 開 会
市長あいさつ
議題
(1) 令和元年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について
(2) 教育費の令和2年度当初予算(案)について
(3) 市内小中学校校内通信ネットワーク整備事業(GIGAスクール環境整備事業)について
(4) その他の件について
閉 会

吉田企画総務部長

企画総務部長の吉田でございます。
定刻となりましたので、ただいまより令和元年度美馬市総合教育会議を始めさせていただきます。
なお、本日は三好委員さんが所用により欠席されておりますので、報告させていただきます。
それでは、開会に当たりまして、藤田市長よりご挨拶を申し上げます。

藤田市長

みなさん、こんにちは。いつも大変お世話になっております。美馬市長の藤田元治でございます。本日は、令和元年度 美馬市総合教育会議を開催致しましたところ、委員の皆様には、ご多忙にも関わりませず、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には、常日頃から、本市行政各般、とりわけ、教育行政の推進に、ご尽力を賜っておりますことに対しまして、この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。
さて、本年度も残すところ、あと1か月余りとなりましたが、改めて振り返りますと、昨年5月1日には、新しい天皇陛下がご即位され、元号も平成から令和となりました。そして、皇位継承に伴う一世に一度の重要な儀式である大嘗祭において、欠かすことのできない麻の織物、あらたえの調進が、木屋平地区のNPO法人あらたえの皆様を中心に、無事、完遂されました。あらたえ調進は、当地域の伝統文化を発信するとともに、歴史的価値の再

藤田市長

評価につながるものとして、まさしく新たな時代の始まりにおいて、輝かしい1ページを彩ることができたのではないかと考えております。地域の歴史的価値の再評価という観点としては、もうひとつ、本市を含めた吉野川流域9市町が申請した、藍のふるさと阿波、日本中を染め上げた至高の青を訪ねて、が、昨年の5月20日、文化庁から日本遺産に認定されました。既に本市を含む県西部2市2町のし阿波の傾斜地農耕システムが世界農業遺産に認定をされておりますので、今回の日本遺産とのダブル認定は、県内市町村で唯一、本市だけとなっております、本市の文化と歴史的な資産の豊かさを象徴するものと考えております。

次に、国が人づくり革命の一つと位置づける幼児教育・保育の無償化であります。本では市独自の施策として、保育料が無料となる、認定こども園、保育所及び幼稚園に通う3歳児から5歳児の給食費についても一律に無料とし、子育て世代の負担軽減を図ってまいりました。

さらに、市内小・中学校の特別教室への空調整備を始め、国の教育のICT化に向けた環境整備5か年計画で求められる大型電子黒板、普通教室で活用できるタブレット型パソコンの整備を行うとともに、新たにICT教育支援員を配置し、新しいICT教育機器を使用した授業も開始するなど、他市に先駆けてプログラミング教育の準備を進めてまいりました。今後も、ICT教育の更なる充実にむけて、校内の高速大容量通信ネットワーク環境や1人1台のタブレット型パソコンの整備を進めてまいりたいと考えております。

一方、英語教育では、市単独で配置している小学校専任の外国語活動支援講師に加え、外国語教育指導監により市全体が統一的な指導を行える体制を構築し、新学習指導要領に先駆けた小学校英語教育の充実に努めて参りました。本年度は、就学前施設におきましてもネイティブの講師による英語活動を実施し、0歳から中学卒業までの一貫した英語教育の取組強化を図っております。今後も、本市の子どもたちが、進展する情報化、国際化社会の中で生き生きと活躍できるよう、教育環境のより一層の充実に努めてまいりたいと考えております。

さて、私は、これまで、10年先、20年先を見据え、美馬市に住んでみたい、美馬市に住み続けたいと言われるよう、まちづくりに取り組んでまいりましたが、将来における本市のあるべき姿と市民とともに進むべき方向についての基本的な指針として第3次美馬市総合計画を3月に策定予定でございます。この総合計画では、本市の将来像を、美しく駆ける 活躍都市 美馬 ～住み続けたいまちをめざして～、とし、美馬市の未来を市民の皆様と行政が力を合わせて創り、生み出すこと、すなわち美来創生により、誰もが健康で活躍できるまちをめざすこととしておりまして、その初年度に当たる令和2年度当初予算を編成いたしました。この中で、教育費につきましては、教員の業務支援を行うことで、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するスクール・サポート・スタッフ配置事業等、学校教育の更なる充実に努めるための予算を計上する予定にしておりまして、部活動指導員と合わせ、教員の働き方改革につながるよう活用いただきたいと考えております。

また、東京2020聖火リレー開催事業として、来る4月16日に聖火リレーが本市内で開催される運びとなっております。東京2020オリンピック・パラリンピック大会への期待を高め、オリンピック・パラリンピックムーブメントの向上を図るための予算についても計上する予定にしております。

これらの内容につきましては、後ほどの議題のなかで詳細についてご説明させていただきますので、皆様からご意見等を頂ければと存じます。

市と致しましては、今後とも教育委員会との連携をもとに、教育行政のなお一層の推進に努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

吉田企画総務部長

ありがとうございました。それでは、議題の方に移らせていただきます。議事の進行につきましては、美馬市総合教育会議設置要綱第4条の規定によりまして、藤田市長をお願いいたします。

議長（藤田市長）

それでは、これより私の方で進行をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

まず、議題1の令和元年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、事務局より説明をしてください。

事務局長（藤本総務課長）

それでは、議題1の令和元年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、それぞれの担当課から、説明をさせていただきます。まず、教育総務課から、続いて、地域学習推進課から、本年度実施いたしました特徴的な事業の概要について説明させていただきます。

藤本教育総務課長

それでは令和元年度教育委員会の主要事業の実施状況について、初めに教育総務課から説明させていただきます。失礼します。座って説明させていただきます。資料の方をお願いいたします。教育のICT化に向けた環境整備事業でございます。事業目的といたしましては、子どもを産み育てるなら美馬市と、子育て世代に支持されるまちを目指し、教育ICTを整備し、教育の環境と質の向上を図り、日々進化する情報通信社会に対応し、地域や日本の未来を担える子どもたちを育成することを目的として事業に取り組んでおります。事業内容といたしまして、令和元年度は、普通教室、特別教室へのWi-Fi環境や児童生徒の3分の1の人数に対応するタブレット型パソコン、またプロジェクター型の大型電子黒板を市内全小中学校において整備いたしました。また、ICT機器の操作支援や教員のスキルアップのため、ICT支援員、ICT教育支援員を各1名配置し、ICT教育の日常の実践のための支援体制を構築するとともに、新学習指導要領に基づくプログラミング教育等、新しい教育に向けて教育研究所による教員研修の充実を図りました。授業の風景については広報番組で紹介させていただいております。後ほど広報番組をご視聴いただきたいと思います。

次に、美馬市英語教育推進事業でございます。0歳児から中学卒業までの一貫した英語教育の実現をテーマに、事業目的といたしまして、子育て世代に選ばれる質の高い教育の実現に向け、ICT教育の充実とともに、美馬市英語教育推進計画に基づく0歳から中学校卒業までの一貫した英語教育を実施し、幼児期からの切れ目のない英語教育に取り組み、グローバル化が進展する新しい時代に対応できる人材を育成することを目的と致しております。

本年度の事業内容は、令和2年度から施行される新学習指導要領による小学校英語教育を本市では昨年度の平成30年度から2年前倒しして実施してまいりました。小学校では、英語専任の教員がいないため、指導内容の均質化と指導力の向上に向けまして、2名の外国語教育指導監が巡回指導や学習計画の支援を行っております。また、小学校に配置された外国活動支援講師2名は、担任教員とチームティーチングや教材の研究、また、中学校へ配置されたALTと毎月合同研修を実施し、小・中学校の英語教育の接続強化を図っております。中学校では、全校に配置されたALTによりコミュニケーション学習の強化を図っているほか、中学3年生の英検3級合格者50パーセントを目標に英検受験料の助成事業を実施しております。なお、今年度の助成事業の状況は、昨日現在で美馬市内の中学3年生生徒数236名のうち、受験料の助成者数が、101名で、生徒数に対する割合は、42.8パーセント、また英検3級以上の取得者数は、67名で、3年生の生徒数に対しては28.4パーセントとなっており、助成による受検者割合は、昨年度と比べまして10パーセントの減、3級以上の合格者の割合で6パーセント程度前年度を下回っております。当年度におきましては残念な結果となっておりますが、要因につきましては、学年による特性や受検日が高校入試の資料となる県内テストと同じ週であって、生徒が受験を躊躇したことなどを学校では考えているようですが、助成事業の利用率につきましては、学校間にバラツキがあり、助成事業の利用率が高い学校は、合格者数の割合も多くなっております。また、助成利用につきまして3級を1年生や2年生で受験し合格する生徒もいるようですが、現在は3年生を対象としているため、活用できない生徒もおります。準2級につきのしては、中学の学習範囲を少し超えるため、合格の可能性があっても3年生の高校入試前に受験し、不合格となりたくないとする生徒もいるようでございます。50パーセントの3級合格者を達成するためには、まず受検率の向上が大切と考えておりますので、次年度は受検者数の増加に向けた事業啓発に取り組むこと、また助成対象学年につきまして検討を行わせていただきたいと思いますと考えております。2ページをお開きください。上段の写真につきましては、小学校での英語教育の様子、8月に実施しましたイングリッシュデイや就学前教育での英語活動の様子を掲

載しております。

中段の、美馬市産米給食推進事業 県下一おいしい給食を目指して、をお願いいたします。事業目的は、市内の小中学校給食において、美馬市産のおいしいブランド米を子どもたちに無償で提供し、地産地消を推進することにより、学校給食全体の質の向上を進め、学校生活の活力となる楽しい給食の時間をつくり、子どもたちに食による郷土への愛情を育て、心身の発達を図ることとしております。事業内容といたしまして、子どもたちにおいしいお米と栄養バランスのとれたおいしい給食を提供するため、毎月1回の統一献立の実施や全国学校給食甲子園への参加により、地産地消や特色ある学校給食づくりを進めております。栄養教諭による栄養学習や給食だよりの配布、また給食アンケートを実施し、児童・生徒の食と健康への関心を高めるとともに、元気な学校生活を支える給食内容の向上に努めております。なお、本年度の全国学校給食甲子園の参加につきましましては、残念ながら県の代表となることができませんでした。献立については、下に紹介させていただいております。江原南共同調理場は、金時豆入りのバラ寿司や鱈のごまみそ焼き、鳴門若布のみそ汁、八朔といった郷土の食材を使った献立のメニューとなっております。脇町共同調理場では、阿波ギューまぜご飯、牛乳、竹輪の徳島青のり揚げ、半田そうめん汁で、岩倉共同調理場は、鶏肉の青のり唐揚げ、すだち酢和え、けんちんみそ汁、冷凍みかんをメニューとしております。右側をお願いします。穴吹学校給食センターは、ご飯、牛乳、ひじきとしらすのふりかけ、すじ青のり入り、はも天ぷら、しゃっきりゆず酢和え、ふしめん汁、でございまして、写真は穴吹学校給食センターと岩倉共同調理場が全国給食甲子園に参加した献立のものです。

続きまして、美馬の子どもたちに本物の音楽をプロジェクト事業でございまして。事業内容は、企業版ふるさと納税を活用し、美馬市交流センター内の本格的音楽ホール、ミライズ市民ホールにおいて、幼稚園、認定こども園の4歳児から小学校3年生までの園児、児童を対象としてズーラシアンブラスによるコンサート、音楽の絵本を開催いたしました。ライオンやウサギ、リスなどの動物に扮した演奏者が奏でる楽器の調べを小さな子どもたちはとても熱心に行儀よく観賞していたようでございます。日常とは違った空間での体験を家庭や園等で家族や友だちと話すなどして共有し、美馬市での豊かな思い出を作る機会となたと考えております。写真はコンサート会場の様子でございまして。

下段、美馬市幼児教育・保育推進計画策定事業でございまして。事業内容は、美馬市内の認定こども園、幼稚園等の施設において、平成30年4月から施行されております国の保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び幼稚園教育要領の改訂で示された、保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園の3つが教育施設として共通の見通しをもって、幼児教育を進めること、2、3つの施設がそろってその保育の質を高めること、を計画的にまた、市内の就学前施設、家庭、小学校、地域などが連携しながら展開し、質の高い教育保育を実施していけるよう美馬市幼児教育・保育推進計画の策定に取り組みました。

策定委員会は3回開催し、作業部会については、のべ13回にわたって開催しました。

続きまして、本年度実施しました、市内小中学校施設管理・整備関係事業でございまして。

1番といたしまして、市内小中学校空調設備整備事業でございまして。平成30年度からの繰越事業でございまして、小学校7校、中学校6校の特別教室に空調設備の設置を行いました。

2番目に、美馬中学校防球フェンス更新事業でございまして。美馬中学校グラウンドの南側において、台風等で破損し倒壊の危険性がある老朽化したフェンスを撤去し、新たに高さ4メートルの防球フェンスを設置いたしました。

3番目に、幼稚園施設解体事業でございまして。廃園となりました三島幼稚園、穴吹幼稚園の各園舎は、耐震性がないため地震時において倒壊の危険性があることから、隣接する小学校児童の安全性を確保するため解体撤去を行うこととしてございまして、この事業につきましましては繰越事業となっております。

4番目、教育ICT化に向けた環境整備事業でございまして。市内小中学校の普通教室にプロジェクター型電子黒板を設置し、従来のテレビ型よりも大画面で、黒板前面に可動式スクリーンを設置したことで、座席場所による視

認性の解消を図りました。

5番目に、中学校教育用パソコン活用事業でございます。市内中学校のパソコン教室及び教師用パソコンが更新時を迎えておりまして、更新したものでございます。令和元年度から令和5年度までのリース契約により導入しております。

それぞれの整備箇所につきましては、写真を5ページに掲載しております。

教育総務課所管分の主な事業につきまして説明は以上でございます。

園木地域学習推進課長

続きまして、地域学習推進課よりご説明させていただきます。座ってご説明させていただきます。資料の6ページをお開きください。

1、社会教育関係でございます。まず始めに、成人式でございます。令和元年度美馬市成人式を、令和2年1月2日に、美馬市地域交流センター ミライズ市民ホールにて行いました。本年度新成人になられた方は、264人でございまして、その内217人の方が出席をされました。

次に、放課後子ども教室運営事業でございます。事業内容といたしまして、学校施設などを活動拠点とし、地域住民の参画のもと、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する事業でございます。現在市内7つの小学校と4団体のスポーツクラブが運営を行い、621人の子どもたちが参加しております。

恐れ入りますが、7ページをお願いいたします。市立図書館運営事業でございます。美馬市立図書館は、株式会社図書館流通センターに指定管理として委託し、運営を行っております。来館者数は、今年の10月末に20万人を突破いたしました。また、本年1月末までの利用状況といたしましては、開館日数241日の間に、来客数が10万1千997人でございまして、その内、本の貸出しを利用した方が2万1千927人で、貸出冊数が14万2千386冊でございます。事業といたしましては、今年の5月11日、12日の2日間に、図書館と人と地域をつなげる、をテーマとした、図書館まつりを開催いたしました。また、市内各小学校に出前教室を実施し、本のすばらしさを子どもたちに伝え、図書館内では、徳島県立文書館、四国大学、うだつの町並みボランティアガイド連絡会等と連携いたしまして、展示会や歴史散歩等のイベントを開催し、郷土の歴史を学ぶ機会を提供したり、美馬の記憶として古い写真を収集したりしたものを、デジタルアーカイブ化するなどの事業を実施し、令和2年1月18日には、絵本作家の、よしながこうたくさんの読み聞かせやライブイベントを開催するなど、多種多彩な事業に取り組んでおります。

恐れ入りますが、8ページをお開きください。次に、人権教育でございます。指導者の育成を図るため、人権指導者育成講座を開催いたしまして、企業、各種団体等の方が受講しております。昨年10月には、現地視察として、香川人権研究所に21名の企業、各種団体の方が参加し、現地での研修を行いました。また、2020人権フェスティバルを令和2年2月23日、日曜日に美馬市地域交流センターミライズで開催いたします。市民ホールでは、地域支援活動センターまいか、や障がい者支援施設かしがおか、と江原中学校の生徒による音楽発表や、教育集会所事業で学んだ教室生の活動成果も発表いたします。人権講演会につきましては、本年3月下旬に行う予定としておりまして、現在、調整中でございます。

次に、2、第15回美馬市文化祭でございます。第15回美馬市文化祭を令和元年11月2日から9日までの8日間開催いたしました。

開会行事では、岩倉小学校の生徒によります鼓笛隊や木内獅子舞を披露し、次のページに写真を掲載しておりますように、各種団体の芸能発表や作品展示も行いました。9日の最終日には、文化講演会を開催いたしまして、オリンピック競泳元日本代表の松田丈志さんを講師にお招きし、夢を喜びに変える 自超力、と題しての講演を行いました。約500人の方が参加いたしました。また、協賛事業といたしまして、9月17日から12月15日の間に文化、芸能、スポーツなどの41の行事も行いました。

恐れ入りますが、次の10ページをご御覧ください。3、社会体育関係でございます。市体育協会では、加盟団体が22団体、会員数は1千391人でございます。総合型地域スポーツクラブは5団体でございまして、スポーツ少年団は12団体、それを指導します指導者数は67人でございます。

次に、第66回記念徳島駅伝につきまして、令和2年1月4日から6日ま

での3日間、開催されました。本市の成績は、昨年8月24日から30日までの間、長野県富士見高原の夏季合宿や関係者のご協力も頂いた結果、前回大会の6位を上回る、総合成績5位入賞を果たし、4区間で区間賞も獲得致しました。

次に、第10回美馬駅伝・クロスカンントリー大会につきましてです。令和2年1月19日に吉野川河畔ふれあい広場を中心に開催いたしました。今大会から、ファンランニングという新しい種目を取り入れたこともございました。705の方がエントリーし、当日は653の方が参加いたしました。参加者の、内訳と致しましては、市内在住の方が348人、県内の方が292人、県外の方が13人でございます。

次に、社会体育施設管理といたしまして、うだつアリーナ、穴吹スポーツセンター、美馬市民グラウンド、吉野川河畔ふれあい広場などの施設がございます。また、うだつアリーナでは、トレーニング備品購入事業といたしまして、トレッドミルを2台、マルチステーションを1台を新たに設置し、老若男女を問わず、気軽にトレーニングを行うことができ、有効な身体各部位の筋力トレーニングを行い、肩こりや腰痛予防などの市民の健康に繋がっております。

恐れ入りますが、11ページをお願いします。4、文化財関係でございます。本市におきます、指定文化財といたしまして、国指定重要文化財が5件、国選定重要伝統的建造物群保存地区が1件、国登録有形文化財が28件、県指定文化財が17件、市指定文化財が59件ございます。また、指定文化財修理事業といたしまして、三木家住宅の茅葺きの葺き替えの事業を行いました。

次に、伝統的建造物群保存対象事業でございます。事業内容といたしまして、国選定重要伝統的建造物群保存地区内に所在する、伝統的建造物群の保存修理に係る補助を行うもので、本年度は、森家2件、福本家2件、二宮家、西条家の計5件の補助を行い、現在実施中でございます。

また、平成30年9月に発生いたしました、台風21号、24号の影響で被害を受けた森家2件、福本家2件、二宮家、西条家、篠原家、八木家、吉田家2件、旧西山家、吉田家、内田家、多田家2件、尾形家2件、野崎家2件の計19件に対しましても、災害復旧の補助を行い、現在実施中でございます。

次に、埋蔵文化財関係でございます。埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に伴う事前調査を本年1月末時点で16件行っております。

次に、各種検討委員会の開催でございます。郡里廃寺跡整備事業検討委員会を昨年の12月に開催いたしまして、来年度に作成いたします保存活用計画を元に文化庁と協議できるよう、事業を進めております。また、歴史資料館整備検討委員会につきましても、平成31年4月に開催いたしまして、来年度の整備に向け、協議を行い事業を進めております。

最後に、日本遺産、藍のふるさと阿波魅力発信事業でございます。次の12ページに写真を掲載しておりますように、令和元年5月に日本遺産に認定されました阿波藍について、のぼり旗の作成などを行いまして、阿波藍の魅力を発信できるように、うだつの町並み内にごございます美馬市観光交流センターや穴吹駅などを拠点として整備しております。

以上で地域学習推進課の主要事業の実施状況の説明を終わります。よろしくお願いたします。

議長（藤田市長）

はい、議題1について、それぞれ説明がございましたが、何かご意見等がございましたら、お願いたします。

よろしいでしょうか。よろしいでしょうか。では、私の方から、これ英検のあれ、後退しているようなんですけど、副教育長、どうして後退したんでしょうか。端的に教えてください。

大泉副教育長

先ほど、教育総務課長も申し上げたとおり、学年の色、色というか、それもあるんですけども、1番はピーアール不足と反省しております。次年度は必ず上回る受験率になるように、今一度、努力したいと思います。

議長（藤田市長）

後退することがないようによろしくお願いたします。次に全国給食甲子園、出場できない要因分析はしていますか。

大泉副教育長 各調理場でさせていただいてはいるんですけども、なぜかという、すみません、具体的には分かりません。ただ、粘り強く来年も出場して、県の代表に選ばれるように努めたいと思います。

議長（藤田市長） 必ず県下一、おいしい給食を目標に掲げていますので、しっかりやってください。それともう一点、クロスカントリー、これ市内の方が348人、県内292人、県外13人、市内の方が少なすぎませんか。

大泉副教育長 あの、先ほど担当課長の方から話があり、ファンランニングという新しい取組をしたんですが、地分どんなものかイメージできていない方もおいでると思いますので、ファンランニングというのは誰でも参加できますので、市内の方がたくさん参加していただけるようにピーアールに努めたいと思います。

議長（藤田市長） しっかりとピーアールして、これ美馬市民のためにやっている、それはもう、まぎれもない美と健康の取組の一つとして、美馬市民のためにやっている。これ、しっかりと認識して取り組んでください。もう一点、郡里廃寺跡整備事業、これ全体スケジュールは組んでいますか。

園木地域学習推進課長 昨年12月に検討委員会を開催しまして、2月末か、3月に、いや12月に現地を視察しまして、地元の委員さん含め学識経験者と現地を歩かせてもらいました。その中で提言がございまして、それを受けて、今月末か3月上旬には次回の検討委員会を開きまして、ご存じのとおり、来年度の10月まで活用計画をする予定としておりますので、書類を作りまして文化庁に申請をして、順次整備を進めることとしております。

議長（藤田市長） 全体的なスケジュールをしっかりと立てて、現地歩いてみて感想どうですか。

園木地域学習推進課長 やはり、地元の意見、学識経験者の意見で違いは多少ございます。学識経験者の方は今の現状を生かしてどうにかできないかとか、あと施設区域内にございます市道、東西、南北ですか、市道をどのように活用するのかという問題もありまして、学識経験者の方はこれを利用している人はいるのかという話が出ていました。地元の方にすれば、重要な幹線道路として現在も地域の方が使っております。道の駅が県道を挟んでありますので、それに対しての主要道路としても使っておりますので、それをできるだけ活用して、できるようにという話は出ております。

議長（藤田市長） はい。分かりました。あの、現地見て分かるように、非常に草とか木が生えて近隣住人の皆様型に肘用にご迷惑をおかけしているというふうな状況ですし、そういう声も聞いていると思うので、そこらへんをしっかりと認識して事業を進めてください。他に何かございませんでしょうか。なければ、それでは、次に議題2の、教育費の令和2年度当初予算（案）について、事務局から説明してください。

大泉副教育長 副教育長。

議長（藤田市長） どうぞ。

大泉副教育長 私から、教育費の令和2年度当初予算、案について、説明させていただきます。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。
資料の13ページをお願いします。こちらの表は、令和2年度 当初予算案のうち、教育関係予算の概要を記載したものでございます。この表につきましては、左から右に向かいまして予算の項と目の区分、令和2年度と令和元年度の予算額、比較、財源内訳となっております。右端の説明欄には、目ごとの主な事業について、記載を致しております。
それでは、この表の中で、主な内容について説明させていただきます。最初に、教育総務費の項でございます。上段の教育委員会費の予算額は、85万円を見込んでおりまして、内容は、記載のとおりでございます。下段の事務局費の予算額は、2億3千345万円を見込んでおります。教育長、教育総務課の職員、学校医や学校薬剤師といった職員の人件費のほか、説明欄に

記載のとおり、外国語活動支援講師と外国語教育指導監を令和2年度も、引き続き、2人ずつ配置する人件費を計上しています。このほか、各学校のICT教育の充実を図るため、令和2年度も引き続きまして、ICT教育支援員及びICT支援員を1人ずつ、配置する人件費も計上しております。なお、元年度の予算額と比較いたしまして、1千780万7千円の増額となった要因は、正規職員の人件費の増額や、地方公務員法の改正によりまして、令和2年度から施行されます会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増額などでございます。

次に、小学校費の項でございます。上段の学校管理費の予算額は、1億7千690万円を見込んでおりまして、説明欄に記載のとおり、市内の小学校の管理運営費等と教育用コンピュータ借上料等であります。教育用コンピュータ借上料につきましては、元年度に、学校ICT環境の充実を図るため、児童3人に1台の割合で導入を致しましたタブレットパソコンのほか、スライド式大型電子黒板などの借上料であります。なお、元年度の予算額と比較して、621万7千円の増額となった要因は、会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増額のほか、岩倉小学校のプールろ過設備の更新や江原南小学校と岩倉小学校の敷地内の舗装などの事業費の計上でございます。

次に、下段の教育振興費の予算額は、8千346万5千円を見込んでおりまして、説明欄に記載のとおりスクールバス等運行事業と要保護及び準要保護児童就学援助費などあります。事業費につきましては、スクールバス等運行事業は、タクシーによる遠距離通学支援事業の分も含めまして、3千982万9千円を、また、要保護及び準要保護児童就学援助費等は、特別支援教育就学奨励費の分も含めまして、2千131万円をそれぞれ計上しております。

なお、元年度の予算額と比較して、854万3千円の増額となった要因は、元年度には、必要がないため、計上していなかったデジタル教科書のライセンス使用料と、スクール・サポート・スタッフの人件費を、それぞれ計上したことのほか、履行期間を3年として、委託しておりますスクールバス運行業務は、来年度、令和2年度が、契約更新の初年度となりますが、契約額で計上しております元年度の予算額よりも、消費税の増税分とか、運行単価の見直し分などを増額して計上したことなどございます。

次に、中学校費の項でございます。最初に、学校管理費の予算額は、9千871万円を見込んでおりまして、説明欄に記載のとおり、市内の中学校の管理運営費等と教育用コンピュータ借上料等でございます。教育用コンピュータ借上料につきましては、小学校費と同様に、生徒3人に1台の割合で導入したタブレットパソコンのほか、スライド式大型電子黒板などの借上料でございます。なお、元年度の予算額と比較して、2千81万6千円の減額となった要因は、会計年度任用職員制度の導入に伴う人件費の増額といった要因がありますものの、生徒などの安全対策のために実施した校舎のガラス飛散防止フィルムの経費や、教育用コンピュータの整備時のみに必要であった環境設定委託料などの元年度に実施した事業の予算を、2年度には、計上していないことなどございます。

次に、教育振興費の予算額は、6千878万6千円を見込んでおりまして、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業と要保護及び準要保護生徒就学援助費などございます。事業費につきましては、スクールバス等運行事業は、タクシーによる遠距離通学支援事業の分も含めまして、2千51万9千円を、また、要保護及び準要保護児童就学援助費は、特別支援教育就学奨励費の分も含めまして、1千845万1千円を、それぞれ計上いたしております。このほか、現在、美馬中学校、脇町中学校、江原中学校に1人ずつと、穴吹中学校には2人を配置しております部活動指導員5人分の人件費も計上いたしております。なお、元年度の予算額と比較して、380万2千円の増額となった要因は、小学校費と同様に、スクール・サポート・スタッフの人件費を計上したことや、こちらも小学校と同様にスクールバス運行業務について、契約額で計上している元年度の予算額よりも、消費税の増税分や、運行単価の見直し分などを増額して、計上したことなどによるものでござい

次に、外国青年招致事業費の予算額は、3千210万2千円を見込んでおりまして、説明欄に記載のとおり、外国語指導助手、いわゆるALTの活動経費などございます。ALTは、平成30年度の8月から、それまでの4人から、3人増加して、7人体制と致しまして、市内の各中学校に、1人ずつ常駐するように配置しているところでありまして、令和2年度も引き続き

、7人体制により英語教育の充実を進めてまいります。なお、元年度の予算額と比較しまして、96万2千円の増額となった要因は、ALTの報酬額とか任用期間が、1年、延びるごとに、増額するような制度となっていますので、この制度による人件費の増額などがございます。次の学校建設費は、記載のとおりであります。

次に、表の最下段の、幼稚園費の項でございまして、予算額は、1億2千873万1千円を見込んでおります。説明欄に記載のとおり、幼稚園の管理運営費と一時預かり事業、いわゆる預かり保育事業などがございます。主に、職員の人件費でございます。一時預かり事業につきましては、2年度は、元年度と同じく、江原北、脇町、岩倉の3つの幼稚園での実施を予定しております。なお、元年度の予算額と比較して、1千547万円の増額となった要因は、育児休業中の職員の復帰などによる人件費の増額のほか、幼児教育の無償化に伴い、昨年10月から、実施しております給食費の一律免除に要する経費の計上などで、ございます。

14ページをお開き願います。次に、社会教育費の項でございます。最初に、目の最上段、社会教育総務費の予算額は、7千778万6千円を見込んでおります。説明欄に記載のとおり、小学校の児童たちの放課後対策として、実施しております放課後子どもプラン事業と、各中学校区におきまして、地域ぐるみで、学校運営を支援するために、取り組んで頂いております学校支援地域本部事業などのほか、文化祭や成人式の経費、また、地域学習推進課の一部の職員の人件費も計上しております。なお、元年度の予算額と比較して、1千4万2千円の減額となった要因は、地域学習推進課の職員数の減に伴う人件費の減額などがございます。

次に、公民館費の予算額は、185万円を見込んでございまして、内容は、記載のとおりであります。次に、図書館費の予算額は、6千551万1千円を見込んでございまして、市立図書館の光熱水費や、指定管理料などがございます。元年度の予算額と比較して、614万6千円の減額となった要因は、光熱水費の減額や、元年度に実施いたしました図書館システム端末機器更新の事業費を、2年度には、計上していないこと、などがございます。

次に、文化財保護費の予算額は、1千402万8千円を見込んでございまして、三木家、青木家、郡里廃寺跡、段の塚穴などの指定文化財の維持管理などの経費であります。なお、元年度の予算額と比較して、536万8千円の増額となった要因は、先ほども出ましたが、郡里廃寺跡保存活用計画策定支援業務委託料や、旧長岡家住宅駐車場整備事業といった事業費の計上などがございます。

次に、重要伝統的建造物群保存対策事業費、そこには、短くして重伝建保存対策費と記載しておりますが、この予算額は、1千916万6千円を見込んでいます。説明欄に記載のとおり、うだつの町並み建造物保存事業の経費を計上してございまして、元年度の予算額と比較しまして、691万2千円の減額となった要因は、建造物の改修件数の減少ということでございます。

次の教育集会所事業費から、青少年育成センター費までの予算額は、記載のとおり、上から順に、376万3千円、548万1千円、720万9千円をそれぞれ見込んでございまして、内容は、記載のとおりでございます。

次に、保健体育費の項でございます。最初に、保健体育総務費の予算額は、4千281万3千円を見込んでおり、美馬駅伝・クロスカントリー大会実行委員会補助金や徳島駅伝選手育成事業補助金などの各種スポーツ振興事業などの経費であります。元年度の予算額と比較いたしまして、464万1千円の増額となった要因は、東京2020聖火リレー開催事業の負担金の計上などがございます。

次に、体育施設費の予算額は、7千710万7千円を見込んでおり、説明欄に記載のとおり、体育施設管理運営事業と、うだつアリーナ大規模改修事業などがございます。うだつアリーナ大規模改修事業につきましては、建築後20年が経過し、老朽化が著しくなっておりますことから、利用者の安全の確保と、利便性の向上を図るために、行うものでございます。令和2年度は、これに係る工事設計委託料を計上してございまして、工事は、令和3年度に行う予定としております。なお、元年度の予算額と比較しまして、1千690万7千円の増額となった要因は、ただ今申し上げた、うだつアリーナ大規模改修工事の設計委託料のほか、吉野川河畔ふれあい広場に、現在、設置している簡易トイレの劣化が著しくなっておりますことから、景観面や環境面が改善し、利用者の利便性の向上を図るために、新たに設置する水洗トイレ

レの工事設計委託料の計上などであります。

次の学校給食費の予算額は、2億2千149万4千円を見込んでおります。説明欄に記載のとおり、穴吹学校給食センターと、脇町地区の3つの共同調理場の管理運営事業と、脇町地区の中学校、3校におけるデリバリー給食委託事業などの経費を計上しております。このほか、食育及び地産地消の推進、給食の質の向上を図るために、おいしい美馬市産のお米を購入して、各調理場に提供しております美馬市産米給食推進事業は、引き続き実施することとしております。元年度の予算額と比較して、1千57万2千円の増額となった要因は、元年度は、臨時職員で対応しておりました穴吹学校給食センターの給食配送業務について、2年度からは、民間事業者へ委託することとしたため、その経費を計上したことのほか、各共同調理場の調理器具などの備品購入費用の計上や、会計年度任用職員制度導入に伴う人件費の増額などがございます。

教育費の総額と致しましては、表の最下段の計のとおり、2年度の予算額は、13億5千920万2千円を見込んでおりまして、この額は、前年度よりも、4千640万円の減額となっております。すいません、増額となっております。失礼いたしました。

以上、簡単ではございますが、令和2年度当初予算案の説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

議長（藤田市長）

議題2の、教育費の令和2年度当初予算案について、何か御意見等がございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

（意見なし）

議長（藤田市長）

それでは、議題2の、教育費の令和2年度当初予算（案）につきましては、今日25日開会の令和2年3月美馬市議会定例会に提案し、議会の審議を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。続きまして、議題3の市内小中学校校内通信ネットワーク整備事業、GIGAスクール環境整備事業について事務局から説明してください。

大泉副教育長

副教育長。

議長（藤田市長）

どうぞ。

大泉副教育長

資料の15ページをお願いします。議題の3、「市内小・中学校校内通信ネットワーク整備事業、GIGAスクール環境整備事業について」説明させていただきます。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

国の教育のICT化に向けた環境整備5か年計画に基づきまして、本市では、昨年、3人に1台のタブレットパソコンの導入し、9月から活用しているところです。その後、国から、GIGAスクール構想が示されまして、その実現に向けた環境整備を図るための経費が盛り込まれた、令和元年度の国の補正予算が、先月30日に成立いたしました。ここで、GIGAスクール構想とは、どのようなものか、文部科学省の資料からの引用も交えまして、説明いたしますと、そこに記載しておりますとおり、高速大容量の校内通信ネットワークと児童・生徒1人1台タブレットパソコンを一体的に整備し、これを効果的に利活用することで、多様な子どもたちを、誰一人、取り残すことない、公正に個別最適化された学びを、全国の学校現場で持続的に実現させる構想でございます。市と致しましては、財政面で有利な、このたびの国の令和元年度の補正予算に呼応して、GIGAスクール構想の実現に向け、3月補正予算により、市内の小・中学校の環境整備を行ってまいりたいと考えています。なお、文部科学省の事業のメニューと致しましては、1、高速大容量の校内通信ネットワークの整備と、2、児童・生徒1人1台の端末、つまり、1人1台のタブレットパソコンの整備の2つがございまして、今回の補正予算では、1の校内通信ネットワークの整備を行うことと、しています。

まず、3月補正予算に計上しております、主な事業内容と致しましては、そこに記載のとおり、平成17年度及び平成22年度に敷設した小・中学校内の既存のLANケーブルがございまして、これについて、今回、文部科学

省が提示した標準仕様書に基づき、今後、到来する高速大容量通信時代に対応できる基準の物に更新いたします。

それと、今後の小・中学校の教育内容には、教科を問わず、インターネットなどの情報手段を日常的に活用する能力の育成が求められていますが、現在、体育で利用する屋内・外運動場でのネットワーク環境は、整備されておりません。このことから、総合などの授業でも活用できるよう体育館にもWi-Fi環境を整備いたします。

それと、児童・生徒1人1台端末の整備に備え、端末を保管し充電する電源キャビネットを各普通教室に整備すること、の以上3点でございます。

次に、事業費は、小学校費は1億5千972万8千円、中学校費は1億1千77万2千円、合計2億7千50万円を見込んでおります。

資料の16ページをお開き願います。次に、これまでの経過と今後の予定の概要と致しましては、今月4日に公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金の交付見込みを提出いたしました。以下は、予定でございまして、中旬には補助金の交付内定、下旬には交付申請提出、そして3月上旬から中旬までの間には交付決定、予算が成立した後は設計業務発注、そして、令和2年度内といたしておりますが、2年度のできる限り早い時期に、工事が完成するように日程を考えております。

次に、その他と致しまして、児童・生徒1人1台タブレットパソコンの整備につきましては、2月中旬頃に交付要綱が示され、同月下旬頃には、交付申請希望の調査が行われる予定となっております。このたびの本市の3月補正予算には、これに係る経費は、計上しておりません。なお、冒頭に申し上げました、令和元年度に整備した3人に1台のタブレットパソコンにつきましても、このたびのGIGAスクール構想の実現に向けた一連の事業に含まれておりまして、従いまして、今後、1人に1台のタブレットパソコンに向け、整備を進める際には、既に整備した3人に1台の残りの3分の2に相当する台数を整備してまいります。わかりにくいのですが、わかりやすい例をあげて申し上げますと、例えば、全ての小・中学校の児童・生徒数が1,800人と致しまして、既に3分の1に相当する600人分は、整備ができていますので、今後は、残りの3分の2に相当する1,200人分を整備していく、ということでもあります。

議題3の説明は、以上のとおりでございます。どうぞ、よろしくお願い致します。

議長（藤田市長）

はい。議題3の市内小中学校校内通信ネットワーク整備事業 GIGAスクール環境整備事業について、御質問や御意見がございましたら、お願いいたします。

（意見なし）

議長（藤田市長）

それでは、議題3の市内小中学校校内通信ネットワーク整備事業 GIGAスクール環境整備事業につきましても、補正予算を計上させていただいておりますことから、今月25日開会の令和2年3月美馬市議会定例会に提案をし、議会の審議を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。
最後にその他の件について、でございますが、何か委員の皆さんからございましたら、お願いいたします。

村岡教育長

市長、教育長。

議長（藤田市長）

はい、教育長。

村岡教育長

令和2年度に向けての美馬市教育委員会の課題や方針について、主なものを5点、簡単に説明させていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。
1点目は、就学前教育・保育についてでございます。新しい時代を担う人材の基礎を培うために、本市の就学前施設に通園する全ての子どもたちが、どの施設においても、質の高い教育・保育を受けられるよう、このたび策定される美馬市幼児教育・保育推進計画に基づき、教育委員会と福祉部門が連携を図りながら、保護者や地域、小学校と協力しながら進めてまいりたい

と存じます。

2点目は、ICT教育の推進についてでございます。市長さんのご挨拶にもございましたが、教育のICT化に向けた環境整備5か年計画や、令和の時代に向けたGIGAスクール構想による高速大容量の通信ネットワークや児童生徒1人1台タブレット型パソコン整備など、子どもたちの教育のために、財政面で大きなご支援をいただいておりますことに、心から感謝しております。学校現場の方からも、最先端の指導ができるようになり、大変うれしく思うと日々感謝の言葉をいただいております。ありがとうございます。

いよいよ4月から、小学校では新学習指導要領が本格実施されますが、言語能力と同様に学習の基盤となる資質・能力と位置付けされた情報活用能力の育成を図るため、ICT支援員やICT教育支援員とともに、計画的に教員の研修を進めるなど、今後ますます充実する環境を子どもたちに最大限に還元したいと考えております。

3点目は、教員の働き方改革についてでございます。小学校での英語教育やプログラミング教育など、新学習指導要領の下、新しい教育がスタートしますが、一方で、教員の働き方改革を進めることも求められています。教員が、ゆとりをもって子どもたちに向き合い、学力や生きる力を育成していくために、教員自身が心身ともに健康であることが教育現場の課題となっております。これも市長のお話にありましたが、美馬市では、平成30年から部活動指導員を、次年度からはスクールサポートスタッフの配置も予定されており、外部人材の活用による教員の負担軽減を図っています。また、タイムカードによる労働時間管理の意識づけや夏休みのお盆期間中の学校閉庁日の実施などの取組も進めています。

4点目は、体育施設関係についてでございます。施設の中には、経年劣化が進んでいるもの、高齢者の利用には少し使いづらかったり、不便なところもあります。今後は、うだつアリーナの大規模改修や、吉野川河畔ふれあい広場に可動式の水洗トイレの設置を計画しており、利用者の利便性を高めるとともに、快適な環境を整え、体力づくり・生きがいくくり・地域の活性化の拠点として、積極的に活用していただけるよう取り組んでまいります。

5点目は、聖火リレーについてでございます。先ほど、市長からの挨拶にもありましたが、4月16日に東京2020聖火リレーが本市内で開催されます。これは子どもたちに大きな夢や希望を抱かせるものでありますし、一生に一度の貴重な記憶になるものと楽しみにしております。オリンピック・パラリンピックを機に、子どもたちがスポーツに関心を持ち、また、様々な国に対して興味を示し、広い視野で物事を考えられるよう支援してまいりたいと考えております。

最後になりますが、児童生徒の状況について、ご報告いたします。本市におきましても、社会状況の変化により、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しており、家庭や地域の教育力の低下、学校におけるいじめ・不登校、学習意欲や体力・運動能力の低下、肥満傾向など、様々な課題が生じております。いじめについては、未然防止のための日常的な取組により、現在大きな問題は発生しておらず、子どもたちが元気に充実した学校生活を送っております。今後とも、新型肺炎の感染拡大などに伴ういじめや差別、人権侵害が起らないよう、正しい知識に基づいて、正しく行動できるよう、子どもたちを指導してまいりたいと考えております。

本日、市長からいただいたご指摘やアドバイスを踏まえまして、本市の未来を担う子どもたちが、また、市民の皆様が、故郷美馬市を誇りに思い、心身ともに健康で美しくよりよい人生を送れますよう、関係の皆様と連携・協力し、本市の教育を一層推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

議長（藤田市長）

他にございませんでしょうか。

他に御意見がなければ、以上をもちまして総合教育会議を閉会させていただきます。慎重な御審議を賜りまして、ありがとうございました。

(午後2時7分終了)

(会議終了後、市内小学校において実施しているプログラミング教育の授業
についての広報番組をDVDで10分程度視聴した。)

(最終 午後2時20分終了)